

ひまわりの声

題字：高森政雄区連会顧問

～新たな考え方を地域活動に取り入れていきましょう！～

港南区連合町内会長連絡協議会会長 藤田 誠治



区民の皆さんには、日ごろから自治会町内会、港南区連合町内会長連絡協議会の活動にご協力とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

昨年も、新型コロナウイルスの感染が続き、緊急事態宣言が複数回にわたり出されるなど、皆さんの日々の暮らしや自治会町内会活動にも大きな影響がありました。思うように活動ができないことも多かったと思います。そういったなかでも、地域の絆を絶やさないように、感染防止対策を行い、活動されている自治会町内会の皆さんに感謝申し上げます。

コロナが終息するまで長くかかることが予想されることから、地域活動をコロナ前と同じように行うことも難しい状況です。これまで繋いできた伝統や想いを大切にしながら、新たな考え方で活動をしていきましょう。地域活動にICTを取り入れていくこともその一つです。ICTを活用していくことで、これまで参加できなかった方々も地域活動に参加してくれるかもしれません。

これまで作り上げてきた地域の絆をこれからも繋いでいくためには「協働による地域づくり」が重要な要素となります。地域で活躍する様々な団体、行政機関がそれぞれ連携し、「協働による地域づくり」を進めていきましょう。また、『ふるさと港南』の意識醸成を行い、次代を担う子どもたちへ引き継いでいく様子に、みんなで一緒に取り組んでいきたいと思います。引き続き、区民の皆さんのご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

港南区長から地域の皆様へ

港南区長 栗原 敏也

昨年4月に就任し、約1年が過ぎました。



私は港南区地域振興課長として8年前まで勤務しておりました。当時区民の皆さんと一緒に議論を重ねて、他区に先駆けて「協働による地域づくり」をスタートさせました。就任後、各地区連合町内会へお伺いさせていただきましたが、今も変わることなく地域の皆さんに強く根付いていることを感じることができ、とてもうれしく思います。

区役所ではICTを取り入れた活動に力を入れております。例えば、毎年開催している「こうなん子どもゆめワールド」のステージ発表を、たくさんの方にご覧いただけるように生配信を行うなどの工夫をしています。今後もICTを活用した取り組みを行ってまいります。

また、昨年から、第4期港南ひまわりプランがスタートしました。このプランは区計画と15の地区別計画で構成され、区民の皆さん・活動団体・行政等が協力して地域をより良くしていくために作り上げた計画となっております。第4期では地域に根付いた「見守り・支えあい」を一人ひとりがさらに意識し、行動できるように取り組んでいけたらと思っています。

一昨年から続いている新型コロナウイルス感染症への対応にご苦労されている方も多いと思います。区民の皆さん方がいつまでも安全で、安心して暮らせるように、また、誰もが住み続けたいと思えるような「愛あふれる♥ふるさと港南」を目指して区政運営に尽力してまいります。

今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

コロナ禍をふまえた今とこれからの中の地域活動～区連会・地区社協合同意見交換会

令和3年12月20日、各地区連合と各地区社協の代表者が集まり、「区連会・地区社協合同意見交換会」を開催しました。一昨年から続いている新型コロナウイルス感染症の影響によって今まで当たり前にやっていた地域活動ができないことによる悩み、コロナ禍の中で工夫してやっている活動、そして、これからの地域活動のあり方や考え方について、2つのグループに分かれ、意見交換を行い共有しました。

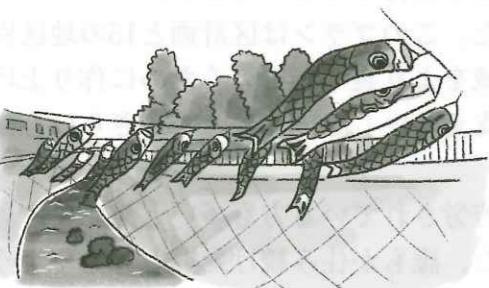


コロナ禍で抱えている悩み

- ・コロナ禍でイベントを開催することが難しい。また、イベントを新たに行なうことも労力的に難しい。
- ・食事会のような飲食を伴う会合がなかなか開催できず、高齢者の外に出るきっかけが少なくなるため心配だ。
- ・顔を合わせる機会が減り、住民間の関係が希薄となっている。



日野地域づくりウォーキングクイズラリー
(日野連合町内会)



日野川鯉のぼり子どもまつり
(日野第一連合町内会)

コロナ禍で工夫している点

- ・地域の活動が途絶えないように、規模を縮小するなど形を変えて活動した。
- ・LINEを使った会議を行うことで、直接会えなくてもお互いの顔を合わせて活動することができた。
- ・移動販売を導入することで、密を避けつつ、子育て世代や高齢者が近所で買い物ができるようにした。

今後の地域活動について

- ・2年間行えなかった夏祭りやそれぞれの地域での活動を再開していきたい。
- ・高齢者が外に出る機会が減り、弱ってきていた。外に出れるような場を作っていく。
- ・ICTを活用した取り組みを広げて、ICTを利用する人を増やしていく。
- ・ウォーキングや移動販売など、健康面を底上げする活動を取り入れていきたい。



親子で遊ぼうポップに乗って
(永谷連合町内会)

**大事なのはこれからどのように活動していくかです
みんなで考え合っていきましょう**

使用済み天ぷら油回収の地域の取り組みについて ～地球温暖化対策として廃食用油の再資源化活動～

合同意見交換会において、横浜市地球温暖化対策推進協議会の佐藤事務局長、区役所担当者、藤田区連会会长から話がありました。



佐藤事務局長から

- ・地球温暖化は進んでいて対策をしていく必要がある。
- ・天ぷら油（廃食用油）を回収および燃焼させてもCO₂排出量はゼロ（ゼロカーボン）のため発電に再利用することで、温室効果ガスの排出抑制につながる。



区役所担当者から

- ・横浜市地球温暖化対策実行計画の実現に向けて活動推進している。



藤田区連会会长から

- ・地球温暖化が原因とされる猛暑や大雪・大雨・竜巻などの異常気象に対して、家庭や地域で負担が少なく始められる対策である、天ぷら油の回収を定着させていきたい。
- ・少しでも多くの方にご協力いただくことが地球温暖化対策の意識を高めていくことになる。

～港南区によこそ～

港南消防署長
櫻井 清二



港南消防署は、30年振り2度目の勤務となります。港南区の皆さんには、日頃から消防署・消防団の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、港南消防署が誕生し、今年で50周年を迎えます。昭和44年に港南区が誕生し、その2年後に1消防署1出張所体制で事務を開始しました。その後消防需要の増加に合わせて、野庭、港南台、上永谷の各出張所が整備され現在に至っています。

消防署所は、開設当初から地域防災の要として、火災や救急対応に加え、地域の皆さんと共に火災予防や防災減災対策に取り組んできました。現在、コロナの影響もあり、一部縮小又は中止の状況ですが、今後とも港南区の安全と安心を確保するため、職員一丸となって取り組んでまいりますので、ご支援の程よろしくお願ひいたします。

『元気な地域づくりフォーラム』の開催について

日時：令和4年3月5日（土）

13:30~15:30（予定）

場所：港南公会堂 ホール

内容：・地域の活動事例紹介

- ・区内中学校の生徒による作文コンテスト優秀作品の発表（社会を明るくする運動作文コンテスト）（中学生人権作文コンテスト）
- ・街のアドバイザーによるパフォーマンス
- ・次年度の地域活動の取組の方向性

人数：各地区から15名まで

主催：区連会

区社会福祉協議会

区役所

オンライン配信も行います。

区役所のホームページをご覧ください。

新旧地区連合町内会長からのご挨拶

現 大久保最戸連合町内会長
鈴木 渉



大久保最戸連合町内会は単体では5町で加入者数は5,660世帯と多くの方々が加入しております。小高い山に囲まれ町内全体の約65%近くが山の上にマンションや高齢者向け住宅、保育園などがあります。その山の稜線には武藏国と相模国の国境があり遠い昔を忍ばせてくれます。

近年の異常気象による災害が各地で多数出ているため、連合町内会としては防災活動に力を入れ災害に強いまちづくりを目指しております。

町内の特にご高齢の方々には『自助・共助・公助』の旗印の下に各自、備えをお願い申し上げております。

前 大久保最戸連合町内会長
林 金吾



就任中は区役所、区連会、各関係団体の皆さんにはいろいろとお世話になりましたことを心より感謝申し上げ本当にありがとうございました。

連合、単会組織と役割、分担等の取組判断の難しさもありましたが、色々な経験、楽しさと喜びをさせていただきました。コロナ禍の中私的に様々な時間が走馬灯のように浮かんで過ぎていきました。

最後に目標である第4期福祉保健計画に向けて頑張って行きたいと思います。皆さまのご健康とご多幸を祈念しております。

ひまわりの声では、港南区連合町内会長連絡協議会を「区連会または港南区連会」と記載しています。

編集・発行 港南区連合町内会長連絡協議会

編集後記

■本号では、コロナ禍における地域活動について意見交換したことと、地球温暖化防止対策として使用済み天ぷら油の再資源化活動について掲載しました。ぜひご一読ください。

■本紙および区連会へのご意見・ご要望は区連会事務局までお寄せください。
(横浜市港南区港南4-2-10)
港南区役所地域振興課内

■区連会会報担当 上田昭則／井出恵章
■編集委員 筒井英子

☎847-8391 FAX 842-8193